

## 子宮内膜症合併前置胎盤・低置胎盤の妊娠初期子宮の特徴についてに対する研究

2015年1月から2022年9月までに当院で帝王切開術を受け、子宮内膜症を合併していた患者さん

### 研究協力をお願い

当科では「子宮内膜症合併前置胎盤・低置胎盤の妊娠初期子宮の特徴についてに対する研究」という研究を行います。この研究は、2015年1月より2020年6月までに日本医科大学武蔵小杉女性診療科・産科にて、前置胎盤または低置胎盤で帝王切開術を受けられた患者さんを調査する研究で、研究目的や研究方法は以下の通りです。直接のご同意はいただく前に、この掲示によるお知らせをもってご同意を頂いたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の主旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究資料の閲覧・開示、個人情報の取り扱い、その他研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡下さい。

#### (1) 研究の概要について

研究課題名：子宮内膜症合併前置胎盤・低置胎盤の妊娠初期子宮の特徴についてに対する研究

研究期間：倫理委員会承認日から2023年12月31日

研究責任者：日本医科大学武蔵小杉病院 女性診療科・産科 針金 永佳

#### (2) 研究の意義、目的について

子宮内膜症は生殖可能年齢女性の10-15%が罹患する骨盤内の慢性炎症性疾患であり、前置胎盤を合併するリスクが有意に高いことが知られています。子宮内膜症を合併していても前置胎盤にならなかった症例と前置胎盤または低置胎盤になった症例の妊娠初期子宮の特徴を見出すことを目的とします。

#### (3) 研究の方法について（研究に用いる試料・情報の種類）

2015年1月より2022年9月までに日本医科大学武蔵小杉病院 女性診療科・産科にて帝王切開術を受けられ、子宮内膜症を合併されていた患者さんのうち、前置胎盤・低置胎盤症例と常位胎盤症例の妊娠初期子宮の特徴を解析します。

この研究は、患者さんの以下の試料・情報を用いて行われます。

試料：なし

情報：年齢、妊娠歴、妊娠方法、子宮内膜症の有無、胎盤の位置等

#### (4) 個人情報保護について

研究にあたっては、個人を直接特定できる情報は使用されません。また、研究発表時にも個人情報は使用されません。その他、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針（文部科学省・厚生労働省）」および「同・倫理指針ガイダンス」に則り、個人情報の保護に努めます。

#### (5) 研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌などで公表します。

#### (6) 問い合わせ等の連絡先

日本医科大学武蔵小杉病院 女性診療科・産科 助教 針金 永佳

〒211-8533 神奈川県川崎市中原区小杉町1-383

電話番号：044-733-5181（代表） 内線：3279

メールアドレス：641se@nms.ac.jp